

集会アピール（戦争する国づくりストップ 2.25 院内集会）

## 戦争準備法案」NO！ 安倍暴走政治ストップ！

### 全国各地で、「憲法を守り、いかそう」の声を大きく広げよう

戦争か平和か、今、日本の針路が鋭く問われています。

安倍政権の暴走は加速する一方です。施政方針演説において、安倍首相は、「戦後以来の大改革」を叫び、「戦争準備法」成立に突き進もうとしています。集団的自衛権行使を容認した「閣議決定」を具体化し、政府の判断でいつでもどこでも切れ目なく自衛隊を派兵できる「海外派兵恒久法」、「邦人救出」「駆けつけ警護」のために自衛隊員の武器使用を認める自衛隊法や PKO 法の「改定」、「武力攻撃事態法」から「存立事態対処法」への「改定」など、とんでもない法案準備がすすめられています。これでは、日本が際限のない戦争の道へ引きずり込まれてしまうことになりかねません。

さらに、安倍政権は、「憲法改正に向けた国民的な議論を深めたい」と明文改憲にまで踏み込もうとしています。そして、昨年 10 月に結成された「美しい日本の憲法をつくる国民の会」など、草の根からの「憲法改悪」策動も始まっています。

しかし、2014 年 7 月 1 日の閣議決定以来、どの世論調査をみても過半数の人たちが、集団的自衛権行使容認に反対の意思を表明しています。「このような憲法解釈の大転換を一内閣が勝手に決めてよいのか」「憲法 9 条を壊すものだ」と多くの国民が不安と危惧を表明しています。また、集団的自衛権行使に反対する意見書は 238 の地方議会で採択されています。そして、憲法共同センターが全国各地で行っている「9 の日宣伝」では、「戦争は絶対ダメ」「戦争に行かされるのは僕らだ。9 条守ってほしい」と対話が弾み、署名の輪が広がっています。「若者を戦場に送ってしまった歴史を繰り返してはならない」と、多くの国民が、戦後 70 年の今年、胸に刻んでいます。

今まさに、激しいせめぎあいの情勢です。日本を「海外で戦争する国」にしてしまうのか、それとも、「憲法を守り生かし、戦争しない国」としてすすむのか、その歴史的岐路に立っています。私たちの運動の飛躍が決定的に重要です。

本日、私たち憲法共同センターは、34 万 2,780 人分の「憲法 9 条守れ」の署名を積み上げ、国会に提出しました。この運動の規模とスピードを飛躍的に高めましょう。集団的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回を求め、「戦争準備法案NO！」のたたかいを、全力ですすめましょう。

全国の仲間のみなさん、憲法共同センターは、以下の行動をよびかけます。

1. 憲法共同センター作成「大切な人を戦争に行かせない」学習パンフを活用し、大学学習運動をすすめましょう。職場・地域で、「憲法カフェ」「3 人寄れば読み合わせ」をすすめましょう。

2. 宣伝リーフを活用して、9の日を中心にして、宣伝・対話・署名を広げましょう。
3. 5月3日、全国各地で憲法集会が開かれます。共同を広げ、それぞれの集会を成功させましょう。
4. 5月以降、国会前集会・傍聴行動・座り込みなど、多様な国会行動を成功させましょう。
5. 地方議会に働きかけ、意見書採択をすすめましょう。

全国の仲間のみなさん、たたかいはこれからです。学習・宣伝・署名を広げ、「憲法を守り、生かそう」と願う国民の声で、「戦争準備法案」「戦争する国づくり」を必ずストップさせようではありませんか。

2015年2月25日

戦争する国づくりストップ 2.25院内集会